

令和6年度「わか杉っ子！育ちと学びステップアップ事業」事業概要(北秋田市)

1 市の概要(人口28,536人)※令和6年4月1日現在

就学前教育・保育施設数、小学校数(令和6年4月1日現在)						
幼稚園	うち、幼稚園型 認定こども園	幼保連携型 認定こども園	保育所	うち、保育所型 認定こども園	地方裁量型 認定こども園	小学校
0園	0園	2園	8か所	0園	0園	6校

その他:義務教育学校1校 (※以下の記載の小学校には義務教育学校を含む)

2 教育・保育の現状と課題

市の教育・保育の課題
(1) 就学前施設と小学校との交流活動、就学後の児童の授業参観、気になる子に関する情報交換はあるものの、小学校入学後の生活や学習への適応や指導に困難を抱える事例が見られる。 (2) 就学前施設と小学校が「育てたい子どもの姿」を明確にし、教育・保育の質の向上を図る必要がある。

3 事業計画の概要(3年間の主な計画)

目的(3年間)	
(1) 就学前施設と小学校とが、子どもを育てるという目的でこれまで実践してきたことを生かしながら、「育てたい子どもの姿」を明確にし、共通理解を図り、連携を推進する。 (2) 「小学校への円滑な接続」に向け、連携体制を強化し、教育・保育の質の向上を図る。	
主な内容	
(1) 部局間の連携による教育・保育の推進体制の充実 ・教育・保育アドバイザーを学校教育課へ1名配置(7月から) ・学校教育課とこども課、医療健康課との連携の強化 (2) 教育・保育アドバイザーによる園や保育者への充実した支援 ・教育・保育アドバイザーによる就学前施設への巡回訪問・助言等 ・未就学児を対象とした事業への参加(5歳児健康相談、療育事業等) (3) 専門性の向上のために研修の充実 ・園の研修体制の充実を図るための支援 ・部局間が連携した研修会の実施 (4) 小学校教育との円滑な接続に向けた研修の充実 ・合同研修会等の実施 ・就学前施設と小学校との円滑な接続のための支援(交流・相互参観・相互参加への働きかけ) (5) 県との連携体制の確保 ・県と連携した指導・支援 ・教育・保育アドバイザーの育成支援の活用	
年度別重点	
令和6年度	教育・保育の改善の必要性についての共通理解と就学前施設と小学校の連携を強化する。

4 令和6年度の具体

目的

就学前施設と小学校との連携体制を構築するとともに、カリキュラム開発に向けた部局間の体制を整備し、市共通版のカリキュラムを開発する。

実施内容及び実施状況(中間)

(1) 「部局間連携による教育・保育推進体制の充実」

- ①教育・保育アドバイザーを学校教育課へ1名配置（7月から）
- ②3課（学校教育課、医療健康課、こども課）の連携
 - ・3課連携会議（4月、12月、3月）
 - ・教育支援委員会への委員としての連携（6月、10月、11月、2月）
- ③学校教育課と医療健康課の連携
 - ・5歳児健康相談（年5回）幼児教室スキップ（月1回）を通しての連携
 - ・乳幼児育成会議への参加、各園での会議の参加（10園訪問）
- ④学校教育課とこども課との連携
 - ・幼保小連携会議、幼保小合同研修会、園長会への事務局としての連携
 - ・県の相談会への相談員の派遣（7月、10月）
- ⑤成果と課題
 - 3課による定期的な連携会議を行うことで、成果と課題を明確にするるとともに、課題改善に向けた方策について協議することができた。それにより、各事業が充実し、就学前施設や学校への支援につながっている。
 - 人事異動により担当が替わっても同じ熱量で連携できるよう、持続可能な連携の在り方を模索する必要がある。

(2) 「教育・保育アドバイザーによる園や保育者への充実した支援」

①令和6年度アドバイザーによる巡回訪問・指導に関する具体的な目標（北秋田市）

派遣実績 計21施設/全21施設 161回	
回数	・保育園：公立3園 私立5園（71回） ・幼保連携型認定こども園：2園（19回） ・小学校 7校（51回） ・その他の施設 4施設（20回）
訪問内容	<ul style="list-style-type: none"> ・園内研修支援（保育改善、テーマ別、研修方法、研修計画） 10園（17回） ・公開保育支援（指導・助言、公開保育研究会の運営・準備） 5園（5回） ・個別相談（保育者の面談及び指導等、園の課題解決対応等） 9園（24回） ・状況把握（保育の状況観察、園長等への聞き取り調査） 10園（24回） ・周知活動（広報紙等での取組経過の伝達、事業内容説明） 10園（52回） ・県と同行（指導方法研修、園の課題共有、指導内容の明確化） 5園（5回）7月からの同行記載 ・幼小接続（幼小接続に関する調査及び事業等） 7校（22回） ・特別支援（特別支援に関する相談・面談） 10園（24回） ・特別支援（特別支援に関する相談・面談） 7校（8回）10園（19回）
理由	<ul style="list-style-type: none"> ・継続した園訪問により、各園や保育者の課題に沿って支援し、保育の質の向上を図るため。 ・三課（学校教育課・こども課・医療健康課）の連携による特別に配慮が必要とされる子どもへの早期からの支援の充実を図るため。 ・就学前施設から小学校教育への円滑な接続に向けて、就学前施設と小中学校の教職員が互いに理解を深め、幼保小連携の推進と充実を図るため。

②成果と課題

- 要請訪問等の研究協議では、積極的に意見を述べ合い、研修を深めようという意識の高まりが感じられる。また、他園や小学校の職員が参加して学び合う体制もできつつある。
- P D C Aサイクルが機能していない場合も見られ、研修が日々の保育の実践につながるように、訪問後の状況確認と継続した支援に取り組みたい。

(3) 「専門性の向上のための研修の充実」

①要録の書き方研修会

【日時】 5月31日（金） 13:30～15:30

【会場】 北秋田市民ふれあいプラザコムコム

【参加者】 市内就学前施設職員 20名

【内容】 講義「指導・保育要録について」

秋田県教育庁北教育事務所

庄司 伸子 指導主事

演習「書き方について」



【参加者によるアンケートから】

- ・アンケート回答者14名（受講者：20名、回収率：70.0%）

満足である : 9名（64.3%）

やや満足である : 4名（28.6%）

やや不満である : 1名（7.1%）

- ・感想

要録を記入することで、自分の保育を振り返り、こどもの理解を深めていくことに気付かされた。学校にしっかりと読んでもらえるような、一人一人の姿が伝わる文章を心掛けなければいけないと感じた。

②保育士スキルアップ研修Ⅰ

【日時】 12月13日（金）

【参加者】 市内就学前施設職員 14名

【内容】 講義「園内研究についてⅠ～研究の意義や進め方について」

秋田県教育庁北教育事務所

庄司 伸子 指導主事

演習「園内研究計画の立案」

【参加者によるアンケートから】

【参加者によるアンケートから】

- ・アンケート回答者14名（受講者：14名、回収率：100.0%）

満足である : 9名（67.3%）

やや満足である : 5名（32.7%）

やや不満である : 0名（0.0%）

- ・感想

園目標や重点目標を具現化するために設定された研究テーマをもとに組織的・計画的・継続的に取組を進めることで研修が充実し、子どもの育ち還元されていくことがよくわかった。研究することで子ども一人一人の育ちにつながってほしいと願いながら、研究に取り組んでいきたい。

③保育士スキルアップ研修Ⅱ

【日時】 1月17日（金）

【参加者】 市内就学前施設職員 12名

【内容】 講義「園内研究についてⅡ～参加型園内研修の進め方について」

秋田県教育庁北教育事務所

庄司 伸子 指導主事

演習「研究協議の構想」

【参加者によるアンケートから】

- ・アンケート回答者14名（受講者：12名、回収率：100.0%）
満足である：10名（85.4%）
やや満足である：2名（14.6%）
やや不満である：0名（0.0%）

・感想

「研究協議の内容を構想する」過程の難しさを感じると共に、目的やゴールを明確にして協議を進めていく大切さがよくわかった。誰と何を話しあうのか、ゴール地点でメンバーがどうあってほしいのかをイメージしながら、今日の演習で学んだことを自園での研究協議に生かしていきたい。

④成果と課題

- 就学前施設の実態やニーズに応じた研修が必要だと考え、近隣の北教育事務所に情報提供いただきながら各種研修会に御協力を願い、研修会を企画することができている。就学前施設からの参加も積極的で、研修への意欲が感じられる。
- 今年度は年度途中で企画した研修が多く、次年度は、早い段階で参加を促せるよう計画的に進めていく。実態やニーズに応じながら、今年度の研修を生かした内容を企画していきたい。

（4）「小学校教育との円滑な接続に向けた研修等の充実」

①第1回幼保小連携会議

【日時】 4月30日（火） 13:45～16:30

【会場】 北秋田市民ふれあいプラザコムコム

【参加者】 市内小学校長及び義務教育学校長 7名
市内保育園長 8名
市内幼保連携型認定こども園長 2名

【内容】 情報提供

秋田県教育庁北教育事務所 庄司 伸子 指導主事
今後の方向性について

北秋田市教育支援委員会 学校教育課 成田 正子
講話・質疑応答

「大館市のモデル地区 釈迦内小学区の実践について」

大館市立釈迦内小学校 佐藤 潔 校長

認定こども園向陽こども園 佐々木 タ子 主幹保育教諭

協議・報告

「育てたい子どもの姿と今後の取組について」学区ごとの協議

【参加者の感想】

就学前施設と学校とで協議する場を設けてもらってありがたかった。年度の見通しをもつことができた。

大館市の実践や入学した1年生の実態から、交流の意義や重要性は感じられる。ただし、ビルドアンドビルドとなり、職員の多忙感にならないような工夫が必要である。



②第2回幼保小連携会議

【日時】 2月28日（金） 14:30～16:30

【会場】 北秋田市民ふれあいプラザコムコム

【参加者】 就学前施設と学校の管理職 16名
教諭や主任 16名

【内容】 今年度の成果と課題について

北秋田市教育委員会 柴田 清香アドバイザー
協議・報告

「令和7年度の取組について」学区ごとに協議し、交流計画立案

③幼保小合同研修会

【日時】 7月26日（金） 13:30～16:30

【会場】 北秋田市交流センター

【参加者】 市内小学校及び義務教育学校 8名
市内就学前施設 15名

【内容】 説明「育ちや学びをつなぐ幼保小の円滑な接続について」

秋田県教育庁北教育事務所 庄司 伸子 指導主事

説明 北管内の取組状況について

秋田県教育庁北教育事務所 庄司 伸子 指導主事

演習・協議 育ちや学びのつながりを意識した交流活動の工夫について

秋田県教育庁北教育事務所 庄司 伸子 指導主事

紹介 北秋田市の事例について

北秋田市教育委員会 学校教育課 成田 正子



【参加者によるアンケートから】

・アンケート回答者22名（受講者：23名、回収率：95.0%）

満足である : 14名（63.6%）

やや満足である : 8名（36.6%）

・感想

園も学校も連携を進める以前の話合いの時間が足りないと感じる。

小学校の先生と演習もしたことで、単元について教えてもらうことができてよかった。

保育園での活動がどのように小学校につながるのか、互いの具体的な実践に役立てたい。

④北秋田市幼保小架け橋委員会

【参加者】 架け橋委員 8名

小学校（校長、教頭、教諭） 4名

就学前施設（園長、副園長、保育教諭、保育士） 4名

指導助言 秋田県教育庁北教育事務所 庄司 伸子 指導主事

【内容】 ・共通版カリキュラムについて

・モデル地区について

・年長児公開保育について

⑤研修等をまとめた広報誌の発行

教育・保育アドバイザーが「もりのかけはし」を発行し、各学校区の連携の進捗状況や研究授業等について情報提供。

⑥相互参観及び研究協議等への参加の促進

互いの教育内容、指導方法の違い及び共通点について理解を深めている。

⑦互惠性のある交流活動の継続

年間計画に基づき、交流活動のねらいや内容を検討し、実施後の振り返りがもたれるようになった。



⑧成果と課題

○これまでの実践と幼保小連携会議、幼保小合同研修会での協議を生かし、子どもたちの育ちや学びを小学校に円滑に接続するための取組が各学校区で展開されている。徐々に育ちや学びの連続性についての理解が深まっている。

●複数園から入学する場合の体制づくりや取組に困難さを感じている学校がある。子どもの育ちと学びを小学校に円滑に接続する意義等について全職員による共通理解を一層図りながら、体制づくりや取組を推進していきたい。

（5）「県との連携体制の充実」

①アドバイザー連絡協議会等への参加を通じて、他市町村の実践や情報の共有

②北教育事務所との連携



(要請訪問への同行5回、実施市支援訪問1回、アドバイザー支援訪問2回、市町村訪問1回、講師依頼4回の他、日常的に打合せ・相談)

③成果と課題

- アドバイザー配置が年度途中の7月から配置されたということ、北教育事務所が近隣ということもあり、県との情報共有を密にしながら、(1)～(5)の全てにおいて丁寧な支援を受けて事業を進めることができた。
- 県による丁寧な支援や適切な指導・助言について、部局間で連携して改善につなげることができるよう進めていく必要がある。

5 わか杉っ子！育ちと学びステップアップ事業(令和6年)の成果と課題

- 県の支援を受けながら部局間が連携し、本市の実態に応じた取組をスタートし、就学前施設と小学校との連携体制の基盤づくりにつなげることができた。
 - こども課と連携しながら園内研究の充実と職員の意識の向上を図るとともに、日々の保育の実践につなげていく体制の強化が必要がある。
- △架け橋カリキュラムについては、2月の北秋田市幼保小架け橋委員会での協議を経て、令和7年度4月幼保小連携会議で提案する方向である。市として育てたい子どもの姿や3つの資質能力について、就学前施設と学校の教職員で共通認識をもち、教育・保育の相互理解をした上で、モデル地区や学校区ごとにカリキュラムの作成を進め、教育・保育の質の改善に向けた取組を行っていきたい。就学前施設から小学校への円滑な接続と教育・保育の質の改善を目指し、令和7年度から年長児公開保育をスタートする。部局間の連携をより一層進めていきたい。